

2022年4月26日  
株式会社三菱UFJ銀行

## 星野リゾート・リート投資法人で「グリーンローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一、以下「当行」）は、星野リゾート・リート投資法人（執行役員 <sup>あきもと けんじ</sup>秋本 憲二、以下「当投資法人」）との間で、グリーン適格物件（星のや軽井沢、界 鬼怒川、クインテッサホテル大阪心斎橋、以下「本物件」）の当初取得に伴う借入金の返済を資金用途としたタームローン契約（以下「本ローン」）を締結いたしました。

当投資法人は、「ニッポンの観光産業の成長の果実を享受できる仕組みを作る」とのコンセプトのもと、日本で初めて観光に特化したリートとして、2013年7月12日に東京証券取引所不動産投資信託市場に上場致しました。その後、着実に資産を積み上げ、全65物件/1,768億円（取得価格ベース）と安定したポートフォリオを構築しております。

気候変動がもたらす温暖化や災害等の地球環境が悪化の一途を辿る現代においては、経営層やマネジメント層の強いリーダーシップのもと、環境・社会への貢献と利益の両立を実現し、新しい時代の競争力の源泉となる“CSV” Creating Shared Value<sup>1</sup>を、持続可能性のある手法によって推進していくことが重要だと、当投資法人は考えております。

当投資法人が資産の運用を委託する株式会社星野リゾート・アセットマネジメントでは、環境・社会・ガバナンスの課題に対するステークホルダーの期待に応えるべく、これら地球規模の課題を、観光産業に従事する企業として、着実にそしてスピーディに解決していくため、2021年12月に「サステナビリティ推進室」を新たに設置致しました。当投資法人は今後も、「建物の設計・建築」・「地域社会」・「従業員の Well being」という観光産業ならではのエコシステムを、不動産の視点から構築することを目指して参ります。

尚、本資金用途における設備資金は、当投資法人のグリーンファイナンス・フレームワークに基づいて、十分な環境改善効果が見込まれ、且つ、環境面における潜在的にネガティブな影響への配慮がなされているプロジェクトとしての確認がなされたものです。当投資法人のグリーンファイナンス・フレームワークは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、グリーンローン原則への準拠について第三者評価（最上位の「Green 1 (F)」）を取得しております。

（以下余白）

<sup>1</sup> CSV Creating Shared Value（共有価値の創造）米国の経営学者であるマイケル・ポーター氏らによって提唱された。CSVは、営利企業が社会ニーズ（社会課題の解決）に対応することで、経済的価値と社会的価値をともに創造しようとするアプローチのこと。

<本ローン概要>

契約締結日	2022年4月26日
借入金額	39億円
資金使途	グリーン適格物件の取得に伴う借入金の返済
貸出人	(株式会社三菱UFJ銀行をアレンジャーとする協調融資団) 株式会社三菱UFJ銀行 株式会社日本政策投資銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社りそな銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社福岡銀行 株式会社足利銀行 株式会社山口銀行

<本物件①概要>

施設名称	星のや軽井沢
所在地	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 2148
主要使途	宿泊施設
敷地面積／延床面積	79,784.52 m <sup>2</sup> ／11,723.61 m <sup>2</sup>
環境認証	CASBEE 不動産評価 S ランク (2021年3月30日認証取得)



本物件① (星のや軽井沢)

<本物件②概要>

施設名称	界 鬼怒川
所在地	栃木県日光市鬼怒川温泉滝 308
主要使途	宿泊施設
敷地面積／延床面積	35,187.55 m <sup>2</sup> ／4,066.60 m <sup>2</sup>

環境認証

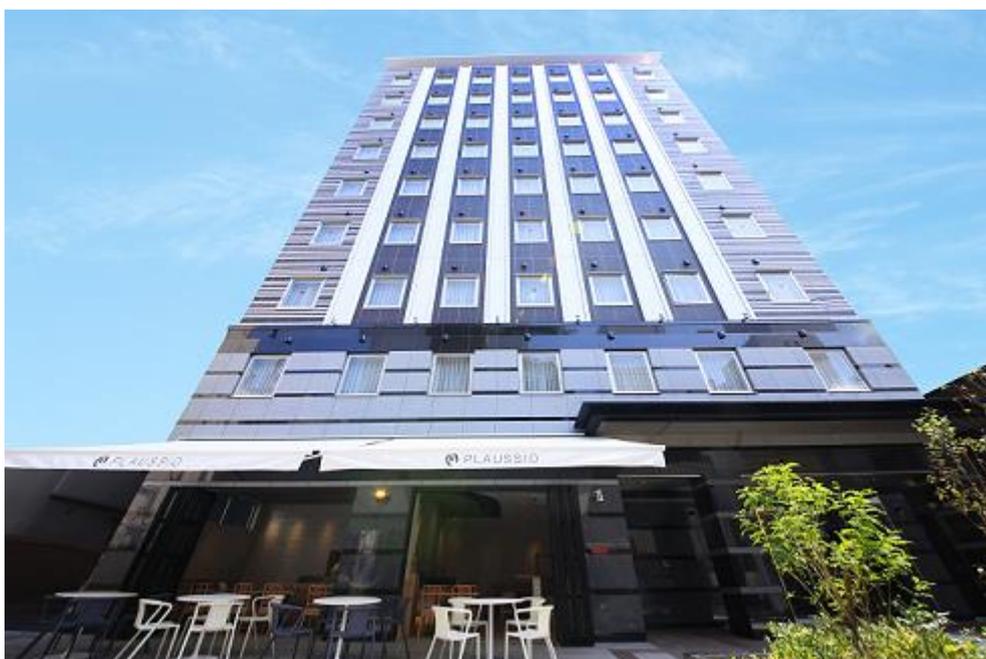
BELS 認証 5つ星 (2019年12月9日認証取得)



本物件② (界 鬼怒川)

<本物件③概要>

施設名称	クインテッサホテル大阪心斎橋
所在地	大阪府大阪市中心区東心斎橋一丁目 8-21
主要用途	宿泊施設
敷地面積/延床面積	791.15 m <sup>2</sup> /2,964.69 m <sup>2</sup>
環境認証	BELS 認証 3つ星 (2019年11月29日認証取得)



本物件③ (クインテッサホテル大阪心斎橋)

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上